

平成 27 年度 北海道体育学会 第 3 回役員会

- 日 時：平成 27 年 10 月 17 日（土）14：00－15：50
- 会 場：北海道教育大学札幌駅前サテライト教室 2（札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 sapporo55 ビル 4 階）
- 出 席：神林 勲（理事長）、森田憲輝（理事長補佐）、山本理人、井出幸二郎、中島寿宏、木本理可、小出高義（広報委員長）、安田 貢（研究委員長）、越川茂樹、瀧澤一騎（監事）、小林秀紹（監事）、安部久貴（幹事）、中道莉央（幹事）
- 議事署名人：中島寿宏、木本理可

■協議事項

1. 第 55 回学会大会プログラム・抄録集（案）について

神林理事長より、平成 27 年度 北海道体育学会 第 55 回大会（於・名寄市立大学）のプログラム・予稿集（案）について、説明があった。軽微な文言の修正や、参加者に対し大会中の写真をニュースレターに掲載させて頂く旨の文言を追加するなどしたが、おおむね原案通り承認された。

2. 第 56 回学会大会の開催地および日程について

神林理事長より、酪農学園大学（江別市）での開催が提案され、第一候補を 11 月 19・20 日、第二候補を 11 月 12・13 日とすることが確認された。

3. 「若手研究者賞」審査委員の選出について

安田研究委員長より、若手賞の審査員について、説明があった。提案された委員の承諾を得て、5 名の審査員が選出された。

4. 地方組織のあり方について

神林理事長および安部幹事より、一般社団法人 日本体育学会が提案する地域組織のあり方にかんする改正案の説明があった。改正案に賛同することが了承されたが、つぎの 2 点を日本体育学会に申し入れることが確認された。①地域組織のあり方に関する移行を進めるならば、各地域への経済的支援が必要になること、②地域学会への所属の意思を会員に確認する際、地域学会活性化のために現状（会員継続）が維持されるような周知の仕方を検討いただきたいこと。また、これとは別に、本学会独自の自律的な組織運営に向けて、学校関係者や民間スポーツ関係企業向けの話題提供の実施や学会誌の充実、広告掲載費の獲得による資金集め等を行う必要があるなどの意見が出された。本学会会員に対しては、2015 年 11 月 29 日の総会において、本改正案を周知することが確認された。

5. 平成 30 年度開催国際会議における協同主催の募集について

神林理事長および安部幹事より、日本学術会議からの標記の募集について、説明があった。

6. 学会誌のオンライン掲載について

森田理事長補佐より、標記の進捗状況が報告された。オンライン掲載については、書誌情報を国立国会図書館（NDL）の「雑誌記事索引データベース」に登録を依頼して掲載し、学会誌掲載論文や学会大会抄録の全文を著作権が本学会に譲渡されたものに限り、本学会ホームページに掲載（会員のみ閲覧できるようにするなど、方法は要検討）する方向で進めていくことが確認された。

■報告事項

1. 編集委員会

中道幹事（代・石澤編集委員長）より、第 50 巻の最終掲載が 11 編であり、来週中に最終校に向けて編集委員会を開催する予定であることが報告された。

■その他

- ・本学会からの各種お知らせ等をメールを活用し行うことが提案され、今後検討していくこととなった。
- ・ニュースレターを学会ホームページに掲載することが提案され、今後検討していくこととなった。